

### 吸湿性能持つ機能包材

丸東産業

### 副資材の誤飲、投入ミス防ぐ

「吸湿フィルム」の袋内イメージ



丸東産業(福岡県小郡市、☎0942・73・3845)が提案を本格化する「吸湿フィルム」が成長軌道を鮮明にしている。フィルム自体に吸湿性能を持つ機能性フィルムで、検査キットや医薬

品関連など、乾燥剤の封入が難しい小さい袋ほか幅広い分野で需要を得ており、裾野を広げている。同社は、ラミネートフィルムの製造、容器等の包装材料、梱包材

料、包装機の販売、パッケージデザインなどの企画、制作などを提案する総合包装企業。医薬品包材をはじめ食品包材ほか幅広い業態に向け、多くの出荷実績を持つ有力企業と高い認知を誇っている。

医薬品包装材や食品包装材などにおいて、乾燥剤などの副資材を投入することで要求以上に乾燥し、それが起因して製品品質を落とすといったことがあり、新たな包装資材の開発が同社に求められていた。そこで長年培った技術をもとに、フィルム袋内の湿度そのものを包材が制御し品質変化を防ぐ「吸湿フィルム」を開発し提案活動を進めている。

最大の特徴は、シート層に吸湿性を持ち、包材自体、袋内を低湿度にコントロールできるところ。要求品質によりタイプがそろえられており、吸湿性を持つ素材のタイプや配合量の設計で吸湿能力が調整できる。包材が袋内の湿気を吸収するので結露や湿気が原因と見られる内容物の品質劣化を抑え、食品・医薬品の商品価値の向上と、賞味期限、使用期限を長くすることを可能にしている。

また、袋内に製品以外のものを封入しないことから誤飲、誤食や入れ忘れのリスク、従来の包装ライン上で乾燥剤の投入装置や工程そのものの省略など、トータルメリットも期待できる。

同社では、60 $\mu$ m厚で一般0%RHタイプ(3g/m<sup>2</sup>)、20%RHタイプ(9g/m<sup>2</sup>)、30%RHタイプ(9g/m<sup>2</sup>)、さらに6g/m<sup>2</sup>の高吸湿0%RHタイプを加え、用途に応じ吸湿量、吸湿スピードに違いを持つ4タイプを

用意している。乾燥し過ぎると品質に問題を生じるソフトカプセルや医薬品、健康食品など包装内の調湿要求に合わせた包装設計を今後も提案していく考え。

同社では、60 $\mu$ m厚で一般0%RHタイプ

同社では、60 $\mu$ m厚で一般0%RHタイプ

同社では、60 $\mu$ m厚で一般0%RHタイプ